

<一般国道349号 鮫川バイパスが全線開通しました！>

◆事業概要

国道349号は、茨城県水戸市を起点とし、福島県の阿武隈山地を縦断して、宮城県柴田郡柴田町に至る延長約260kmの幹線道路です。鮫川村においては、中心部を南北に縦断しており、沿線地域の生活や産業を支えている極めて重要な道路であります。

本バイパスは、道路の幅員が狭いために、車両や歩行者等の安全な通行に支障をきたしていたことから計画され、昭和61年から事業に着手し、今回、平成25年3月27日に全線開通を図ることができました。

今回の全線開通により、地域の皆様の安全で安心な通行の確保が図られるとともに、地域の発展に大きく貢献する道路として期待されます。



パレードの状況



地元の方々と共に開通をよろこぶ



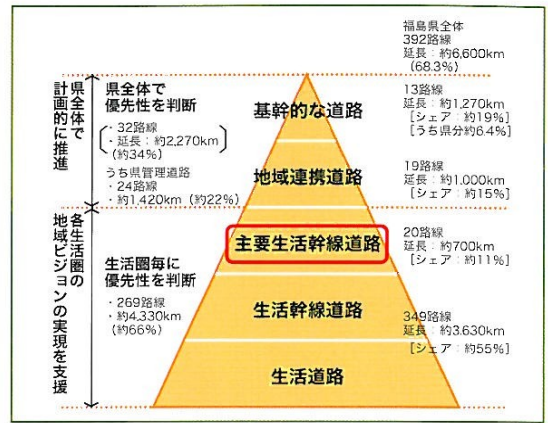
和太鼓のソロアーティストによる演奏

○事業概要

国道349号は、茨城県水戸市を起点とし、福島県の阿武隈山地を縦断して、宮城県柴田郡柴田町に至る延長約260kmの幹線道路であります。鮫川村においては中心部を南北に縦断し、「ふくしま道づくりプラン」における「主要生活幹線道路」に位置付けられ、緊急輸送道路の第二次確保路線にも指定されている重要な道路です。

しかしながら、鮫川村中心部においては、幅員が狭小で大型車の交差が困難であり、安全で円滑な交通の確保に支障を来しておりました。

このため、鮫川バイパスはこれらを解消するために計画された全体延長約L=3.0kmの道路改築事業です。



○事業経緯

- 昭和61年度 事業着手
- 平成8年度 村道巡ヶ作線(手・まめ・館付近)から県道勿来浅川線までの約L=0.7km供用
- 平成9年度 新宿トンネル工事起工(平成10年1月) 平成10年12月 貫通
- 平成11年度 県道赤坂東野塙線から村道巡ヶ作線(手・まめ・館付近)までの約L=0.6km供用(平成12年1月 新宿トンネル含む)
- 平成16年度 起点より県道赤坂東野塙線までの約L=0.4km供用(平成16年4月 湯の田橋含む)
- 平成22年度 中野トンネル工事起工(平成23年3月) 平成23年8月 貫通
- 平成24年度 県道勿来浅川線から終点までのL=約1.3km供用《全線約L=3.0km供用》(平成25年3月)

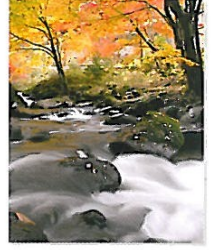
○計画概要

- ・事業名 : 国道改築事業(昭和61年度~平成23年度) 交付金事業(平成24年度)
- ・事業区間 : (自) 東白川郡鮫川村大字赤坂東野地内 (至) 東白川郡鮫川村大字赤坂東野地内
- ・延長 : L=2,967.6m
- ・幅員 : 起点から県道勿来浅川線間 W=6.5(11.0)m
県道勿来浅川線から終点間 W=6.0(8.0)m
- ・道路規格 : 起点から県道勿来浅川線間 第3種第2級
県道勿来浅川線から終点間 第3種第3級
- ・設計速度 : 50km/h
- ・総事業費 : 約46億円
- ・主要構造物 : 湯の田橋 L=27.5m W=6.0(10.0)m
新宿トンネル L=143.0m W=6.5(10.25)m
中野トンネル L=193.0m W=6.0(8.5)m





① 農産物加工・直売所「手・まめ・館」
「まめで達人な村づくり事業」の拠点施設で、旧鮫川幼稚園園舎を改築。村内産の農産物や加工品、工芸品が並ぶ直売所のほか、食堂や豆腐・納豆加工室、食品加工室がある。地域経済の活性化や食農教育の場、都市との交流の情報発信基地。



② 強滝
村南西隅の江竜田の滝とともに、福島県の自然環境保全地域（一部は特別地区）で、ふくしま遊歩道50選。R349沿線。



鮫川バイパス 延長約3.0KM



③ 鹿角平観光牧場
ふくしま緑の百景。大草原が広がる鹿角平観光牧場内には、バーベキューハウスやバンガロー、天文台などが整備され、青空のもと思いっきり遊ぶことができる。



④ 村民保養施設「さぎり荘」
山並みに抱かれた彩り豊かな自然の中で、春夏秋冬を感じながらゆったりとした時間を楽しむことができます。